

念のために、仙台における昼間（日出直後の正時から日没直前の正時まで）の雲量の日変化を第10図に示す。太陽高度が低い朝夕に雲量が多い、という事実はない。

6. あとがき

地形地物の影響を受ける地点の日照率を、全くそのような影響のない日照率に補正する方法をのべた。この方法が利用されるためには、日照計設置地点において、必ず、日出・日没時の太陽高度とその時刻が、季節別に算出されることが望まれる。

文 献

- 荒井隆夫・渡辺次男, 1960: 天気学, 技報堂, 28~30.
- 昆 幸雄・新関競三・池田誠也, 1966: 北高型における岩手県の風と天気について, (研究時報22巻3号に掲載予定)
- 吉田作松, 1966: 太陽方位高度図について, 東北技術だより(仙台管区気象台) No. 31, 37~40.
- 吉田作松, 1968 a: 可照時間について, 天気, 15, 255~258.
- 吉田作松, 1968 b: バイメタル日照計による観測値の性質—ジョルダン日照計との相違とその原因—研究時報, 20, 6~23.

第15期 第12回常任理事会 議事録

日 時: 昭和45年1月12日 15.00~18.00

場 所: 気象庁予報部会議室

出席者: 山本理事長, 大田, 毛利, 根本, 朝倉, 岸保, 松本, 大井, 神山, 北川, 各常任理事

議 題

議決事項:

1. 地区研究のあり方, 学会のあり方, 学会のあり方と将来の希望(九州大会における座談会)の取り扱いについて

座談会の記事を天気に掲載する。それに基づいてさらに内容を検討する。

2. 学会奨励賞(仮称)について
賞は設ける方向とし, 検討委員会の意見を考慮し再検討する。名称についても検討すること。

3. 学会参加費について

会場費として徴収する。したがって気象庁で行なうときには徴収しない。

4. 故正野教授記念論文集刊行について
刊行準備委員会を設ける。委員に窪田正八・河村武各会員, 岸保・須田両理事を委嘱し, 刊行計画案を作成してもらう。担当理事は岸保氏とする。

6. 45年度秋季大会開催期日について
10月27日(火)~29日(木)を予定し, 関西支部に連絡する。

7. その他
45年度総会大会開催期日について
担当の東管と打ち合わせた結果に基づき, 5月26日(火)~28日(木)を予定する。

承認事項:

Douglas A. Addott 外27名の入会を承認する。